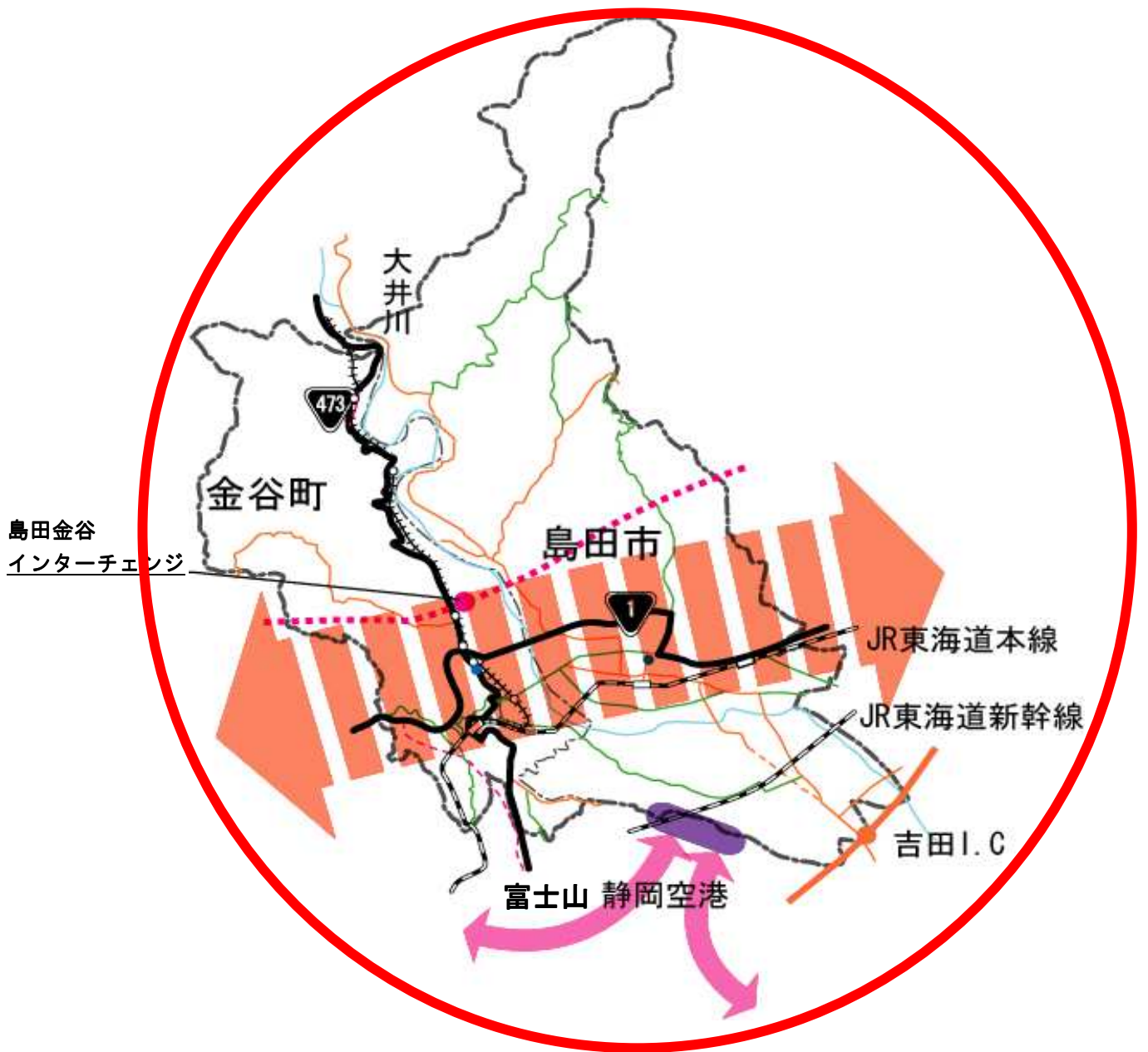


5. 新市の主要施策

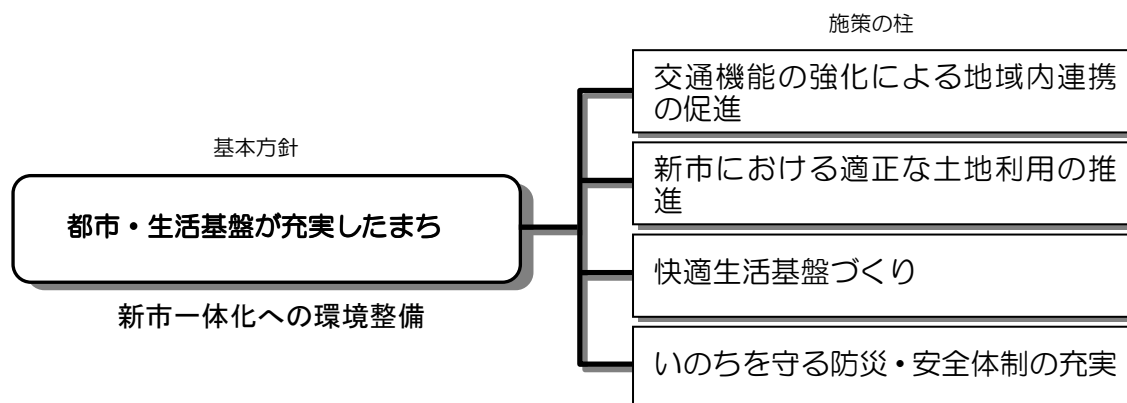
(1) 重点プロジェクト

| | |
|-------|---|
| テ ー マ | <h2 style="text-align: center;">大井川の恵みを育み、地域内をつなぐ</h2> <p style="text-align: center;">～ 一体化交流ネットワークによる新市の礎づくり ～</p> |
| 目 的 | <p>新市の早期一体化をめざし、新しい宿場町を形成します。</p> |
| 事業内容 | <p>●新たな懸け橋と高速交流拠点のネットワーク化 キーワード 大井川</p> <p>「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」とうたわれ、近くて遠い大井川両岸に住む住民のイメージを早期に払拭できるよう、市民が一丸となって、県道島田金谷線をはじめとする基幹道路の整備や大井川への新たな懸け橋づくりを推進します。</p> <p>また、高速交通拠点（新東名・東名高速道路インターチェンジ、富士山静岡空港、JR駅など）を結ぶ基幹道路を整備するとともに、市域内の移動を円滑化することで市民交流の促進を図ります。その手段として、コミュニティバスを市民のライフスタイルに合わせて運行し、市民生活の一体化とネットワーク化を進めます。さらには、ヒト、モノ、情報がスムーズに行き交うことができる機能的な交流拠点の整備をめざして、都市基盤づくりを進めます。</p> <p>●大井川の恵みによって培われてきたお茶文化の伸展 キーワード お茶</p> <p>大井川に誰からでも見える市民の心の懸け橋を架けることにより、江戸時代以前から脈々と培われてきた歴史・文化の更なる交流を促進させ、新たな歴史の1ページを創出します。</p> <p>「(仮称)お茶の歴史とふるさと街道」として、お茶に関連した牧之原台地と、蓬萊橋、川越遺跡、旧東海道石畳、お茶の郷、志戸呂焼とのネットワーク化を図り、お茶の歴史と文化等を情報発信します。また、新たに観光、産業、医療、教育分野のほか、大学や研究機関など、民・産・学・官と連携したコンソーシアムを確立させ、お茶に秘められたあらゆる可能性を世界に発信できるまちづくりをめざします。</p> <p>●100%元気な住環境づくり キーワード 健康</p> <p>「誰もが暮らしたい、行ってみたい」といわれるような新しい宿場町の形成をめざすために、そこに住む市民の「元気」と「活力」が生まれるような環境づくりを推進します。</p> <p>地域医療と連携して健康管理に関する市民意識の向上を図りながら、保健福祉機能の充実や人材育成に努めるとともに、市民の健康を見守り、大井川流域の中核的医療機関として、早期に新病院を建設し、医療の高度化、専門化に努め、安心、安全でかつ適正な医療サービスを提供していきます。また、大井川河川敷などのスポーツ施設や健康増進施設を活用して、市民の交流と健康維持・増進や疾病の予防、さらには福祉の向上を図るために、医療と連携した「健康づくりプログラム」を展開する環境整備をめざします。</p> |



(2) 基本方針と主要施策

1) 都市・生活基盤が充実したまち



【基本方向】

大井川に架かる橋りょうや幹線道路、生活道路の整備、コミュニティバスの拡充など公共交通の充実を図ることで、地域内の連携と一体化を強化し、誰にも優しい交通体系を構築します。

また、自然環境の保全に十分に配慮しつつ、情報通信機能や上水道整備、下水道をはじめとする排水処理機能などの強化により、誰もが住みたくなる、住み続けたくなるような生活環境の形成に努めます。

さらに、災害時の広域応援体制の確立が進められている中、ライフラインを早期に確保し、自力復旧ができるような災害に強いまちづくりを進めます。加えて、消防、防犯、交通安全施設の充実や地域・住民が主体的に取り組む防災・防犯体制の形成などにより安全・安心なまちづくりを進めます。

<交通機能の強化による地域内連携の促進>

- ・ 県道島田金谷線（大井川橋）の渋滞対策に取り組むとともに市内の基幹的な道路の整備を進め、市内の連携を強化する基盤を形成します。また、住民の日常生活に身近な生活道路について、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を進めます。
- ・ コミュニティバスのネットワーク化を図ることなどにより、誰にも優しく、利用しやすい公共交通環境を形成します。

<新市における適正な土地利用の推進>

- ・ 豊かな自然が残る地区については、その保全に配慮した秩序ある開発誘導を進めます。また、市街地についても計画的な整備を進め、適正な土地利用を推進していきます。

<快適生活基盤づくり>

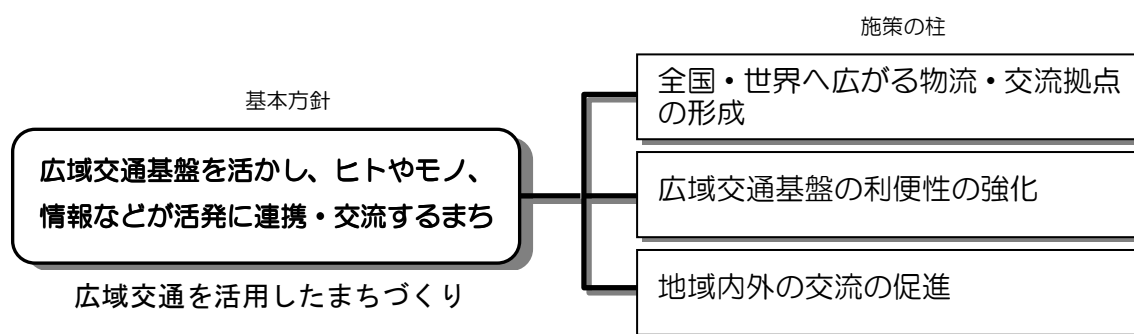
- ・ 公営住宅の整備により新市に定住する基盤を確保していきます。
- ・ 住民の日常生活にうるおいを提供するとともに、災害時の避難場所としても欠かすことのできない公園・緑地については、地区の特性を活かし、計画的に整備します。
- ・ 行政情報の提供、住民の交流、学習活動など様々な分野での活用が期待される情報通信ネットワークの充実を図ります。
- ・ 安全な水を安定して供給できるよう水道施設の整備を進めます。また、下水道、合併処理浄化槽等の生活排水処理施設についても計画的に整備を進め、水質を保全し、衛生的な水の循環体系を維持、強化します。
- ・ 航空機騒音や自動車騒音等の対策など関係機関との連携により進めていきます。
- ・ 快適な生活基盤の整備にあたっては、すべての人が快適に利用できるようユニバーサルデザインの考え方に立つとともに、その普及・啓発を進めます。
- ・ 消費者への情報提供、消費生活相談等を充実させ、一人ひとりが自立した消費者として行動できるよう支援し、住民の消費生活の安定及び向上を図ります。

<いのちを守る防災・安全体制の充実>

- ・ 災害に強いまちづくりに向け、公共施設の耐震化を進めます。また、新東名高速道路島田金谷インターチェンジ開設などに伴う消防体制の強化をはじめ、水防、防犯、交通安全対策を進めるために設備等の充実を図ります。また、地域、住民が主体となる自主防災や交通安全活動、防犯活動など住民自らの手で取り組む安心できるまちづくりを支援します。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|------------------------|---|
| 交通機能の強化による 地域内連携の促進 | 地域内道路交通ネットワーク化形成事業 ・ 県道島田金谷線（大井川橋）渋滞対策事業 ・ 基幹道路整備事業 |
| | 公共交通強化事業による新市連携促進事業 ・ コミュニティバスネットワーク事業 |
| 新市における適正な土 地利用の推進 | 土地利用に関する計画策定事業 |
| | 市街地整備事業によるまちの顔づくりの推進 ・ 土地区画整理事業 |
| 快適生活基盤づくり | 人にやさしい定住基盤整備事業 |
| | 生活に安らぎとうるおいを与える公園・緑地整備事業 |
| | 水とともに暮らすせせらぎ空間形成事業 |
| | 高度情報化社会に向けた情報通信ネットワーク強化事業 |
| いのちを守る防災・安全 体制の充実 | 大井川の恵みを楽しむ上水道整備と下水道、合併処理 浄化槽等生活排水処理施設整備事業 |
| | 災害に強い防災体制構築事業 |
| | 消防、水防、防犯、交通安全推進による安全・安心のま ちづくり事業 |

2) 広域交通基盤を活かし、ヒトやモノ、情報などが活発に連携・交流するまち



【基本方向】

東名高速道路、新東名高速道路、富士山静岡空港、J R東海道本線、大井川鐵道といった東西及び南北に広がる交通基盤を活かし、広域交流機能の一層の向上をめざすとともに、快適に滞在できるような取り組みを進め、通過点にしない“新”宿場町としてのまちづくりをめざします。

また、これらの豊富な広域交通拠点機能を活かし、国内はもとより海外とのヒトやモノ、情報の連携と交流を促進します。

<全国・世界へ広がる物流・交流拠点の形成>

- ・ 高速道路インターチェンジや富士山静岡空港などの交通拠点機能を活かし、関係機関等との連携のもと、新たな魅力と活力の創出に向けた基盤の整備を進めます。また、企業や専門教育機関・研究機関の誘致や物流機能の強化を進め、流入人口や定住人口の増加を図るとともに新市発展の拠点を形成します。
- ・ 東海道新幹線富士山静岡空港新駅開設の働きかけを行うとともに、富士山静岡空港、新東名高速道路島田金谷インターチェンジなど各高速交通拠点へのアクセス機能強化を進めます。
- ・ 新市へ人が訪れ、不便なく新市に立ち寄り、滞在したくなるような、通過点にしない“新”宿場町としてのまちづくりを進めます。
- ・ 人の交流、産業の交流などの促進に向けては、大井川の水や観光資源、特産品、物流機能、企業立地などの情報を発信します。

<広域交通基盤の利便性の強化>

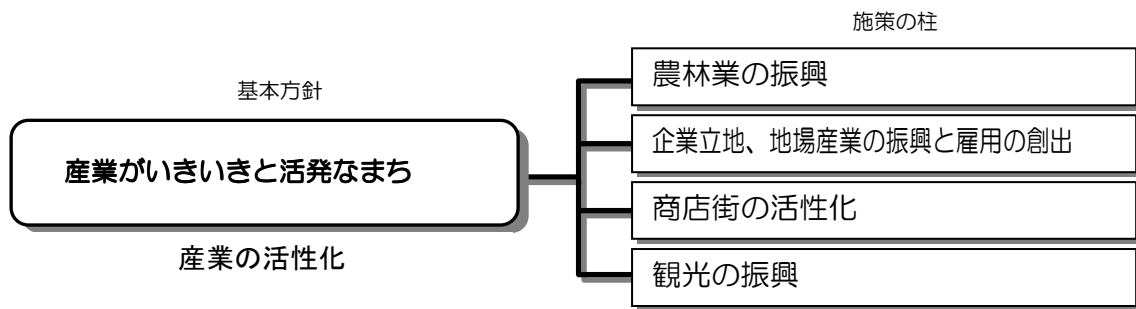
- ・ J R島田駅などの整備により通勤・通学者、来訪者が利用しやすい交通拠点づくりや、市内外の各交通拠点をつなぐ道路網の整備などによりアクセス機能を強化し、交通基盤の利便性の向上を図ります。

<地域内外の交流の促進>

- ・ 近隣市町に対しては、通勤通学など生活圏が重なることや古くからの交流、共通する特徴等があることから、今後も連携を図り魅力あるまちづくりをめざします。また、スポーツ大会の招致や観光客誘致、姉妹都市交流などにより広域的な交流を促進します。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|---------------------|--|
| 全国・世界へ広がる物流・交流拠点の形成 | 交通拠点化を活かす周辺基盤整備事業 ・ 空港隣接地域振興事業 ・ 新東名島田金谷インターチェンジ周辺地域基盤整備事業 |
| | 企業・専門教育機関・研究機関誘致や魅力発信による新市発展拠点形成事業 ・ お茶の都づくり関連事業 |
| | 通過点にしない“新”宿場町形成事業 |
| 広域交通基盤の利便性の強化 | 広域交通機能強化事業 ・ J R 島田駅南口開設事業 |
| 地域内外の交流の促進 | 新市アピール広域交流促進事業 |

3) 産業がいきいきと活発なまち



【基本方向】

農林業の振興に向け、生産基盤の充実や地産地消の取り組みなどを図るとともに、お茶をはじめとする当地域固有の特産品による産業振興をめざします。

工業については、企業立地の受け皿づくりを進めるとともに、広域交通拠点機能を活かした産業の振興と雇用の場の充実、増大を図ります。

商業については、市街地の整備などにより、気軽に訪れ、立ち寄れる、賑わいある商店街づくりを進め、地元の特性を活かした活性化を図ります。

観光については、各地の観光施設の充実や伝統的な祭りの支援等を進めるとともに、各資源のネットワーク化を進め、新市全体での魅力、集客力の強化を図ります。

<農林業の振興>

- ・ 茶業振興の大きな課題となっている生産基盤の整備、充実を図るとともに農林道整備や土地改良事業を推進します。
- ・ 市内で生産された安全で新鮮な産品を住民に提供し、地域の農林業について住民の理解を深め、消費者と生産者の相互信頼の向上を図るとともに消費拡大につながるよう地産地消を進めます。

<企業立地、地場産業の振興と雇用の創出>

- ・ 新市が有する水などの素材や広域的な交通機能の優位性などを活かし、新たな企業の立地に向けた受け皿づくりを推進し、雇用の創出を図ります。
- ・ 地域に密着し、地域に貢献する地元企業については、経営近代化などの支援を進めます。
- ・ 高齢化の進展に対しては、雇用創出の面からも高齢者福祉サービス提供体制の充実を図ります。

<商店街の活性化>

- ・ 商店街においては、市街地の整備を進め、基盤の整備と魅力づくりを図ります。また、地元組織の支援を図るとともに、空き店舗対策やTMO活動の支援、商品券の活用、イベントの開催などにより、気軽に立ち寄り、賑わいあふれる商店街の形成を支援します。

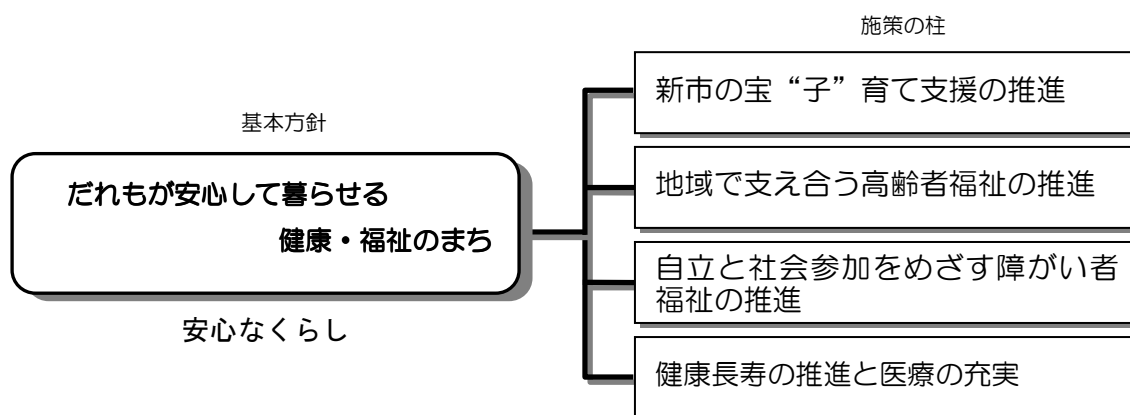
<観光の振興>

- ・ お茶の郷や牧之原公園、牧之原大茶園、川越遺跡、旧東海道石畳、蓬莱橋、SL、志戸呂焼などの観光資源を活用し、観光名所としての機能の充実を図ります。また、これらの観光資源を結びつけ、富士山や温泉地等の観光地との広域的な連携を図ることで、観光的魅力や集客力の増大を図ります。
- ・ 伝統的な祭りの継承やイベントの開催への支援を行うとともに、新市の一体化に向けた活用

を図ります。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|------------------------|--------------------------------|
| 農林業の振興 | お茶等の地域特産品生産を支える生産基盤強化事業 |
| | 安全で新鮮な地場産品による地産地消促進事業 |
| 企業立地、地場産業の振興 と雇用の創出 | 地域産業の活力を培う企業立地基盤整備事業 |
| | 地域に根付く地場産業振興事業 |
| 商店街の活性化 | にぎわいを取り戻す空き店舗対策事業 |
| | 歩いて楽しい商業基盤施設整備事業 |
| | TMO活動支援事業 |
| 観光の振興 | 新市の誇り観光名所形成事業 |
| | お茶文化交流観光拠点整備事業 ・お茶の都づくり関連事業 |
| | “まつり”観光振興事業 |
| | 地場産業活用観光振興事業 |
| | 観光資源ネットワーク化事業 |

4)だれもが安心して暮らせる健康・福祉のまち



【基本方向】

家族や地域、企業が一体となって子育てを応援し、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを進めます。また、子どもも、おとなも、若者も、高齢者も、障がいのある人も誰もがそれぞれの力を出し合い、支え合いながら快適な生活を送ることができるよう世代間の交流活動の促進に努めるとともに、多様なニーズに対応できる福祉サービスの充実を図り、住み慣れた地域の中で誰もが自立し、生きがいを持って暮らしていけるような環境づくりをめざします。

さらに、疾病予防や住民の健康維持・増進を促進し、住民の主体的な健康づくり活動を積極的に支援します。また、医療については、疾患構造の変化に対応した医療の高度化、専門化に努めるとともに、住民の医療ニーズに対応した適切な医療サービスを提供するために、医療関係機関の相互協力による包括的な地域医療体制の確立に努めます。併せて、救急医療体制や災害時の医療、救護体制の充実を図ります。

<新市の宝“子”育て支援の推進>

- ・ 安心して子どもを産み、育てられる環境を整えるため、各種支援措置の充実を図るとともに、放課後児童クラブなど子育て支援施設の整備を進めます。
- ・ 地域による児童の一時預かりや、隣近所の支援などにより、地域ぐるみで子どもを見守り、家族と地域が一体となって子育てに取り組む体制づくりを推進するとともに、仕事と子育ての両立に必要な雇用環境の整備促進を図ります。

<地域で支え合う高齢者福祉の推進>

- ・ 高齢者がいきいきと暮らすことができるよう、また、高齢者が知識や経験を活かして地域で活躍できるよう高齢者の就労機会の拡大やスポーツ活動などへの参加を促進します。
- ・ 高齢者の健康増進や自立を支援し、安心して暮らしていけるよう福祉施設の整備やサービス提供体制の充実を図ります。

<自立と社会参加をめざす障がい者福祉の推進>

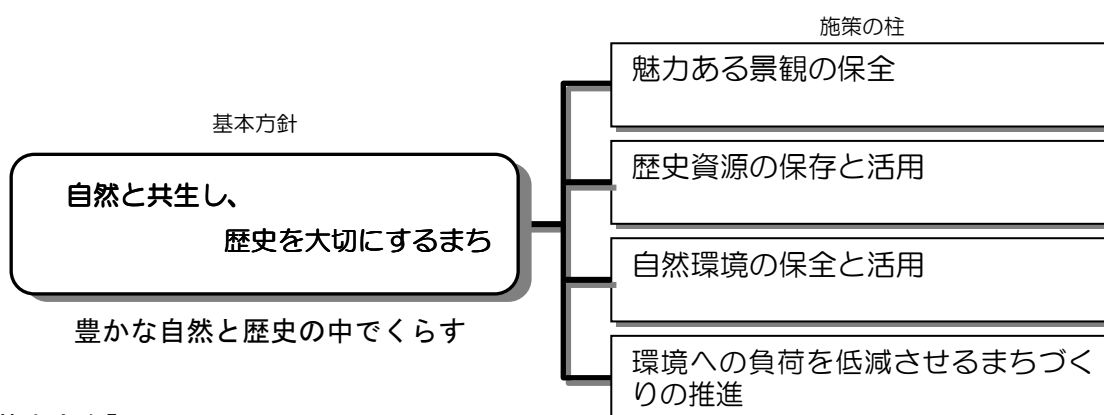
- ・ 障がいのある人の自立と社会参加を支援するとともに、障がい者福祉施設の整備などにより障がい者福祉サービスの充実を図ります。

<健康長寿の推進と医療の充実>

- ・ 健康長寿をめざした疾病予防や住民の健康維持・増進を促進します。また、スポーツ活動への参加を促進し、健康づくりを支援します。
- ・ お茶の持つ効能の研究が進む中その成果を踏まえ、まず、特産地に住む住民が、お茶を活かした健康の維持・増進やゆとりづくりを図れるようその活用を促進します。
- ・ 市民病院は、大井川流域の中核的医療機関として、機能の一層の充実を図ります。また、高度専門医療充実のため、医療施設の整備や医療従事者の確保に努めます。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|----------------------|--|
| 新市の宝“子”育て支援の推進 | 未来を担う子育て支援事業 |
| | 子育て支援施設整備事業 |
| 地域で支え合う高齢者福祉の推進 | 高齢化に対応する高齢者福祉サービス強化事業 |
| | 高齢者の自立支援と支え合いの推進事業 |
| | 高齢者福祉施設整備事業 |
| 自立と社会参加をめざす障がい者福祉の推進 | 障がいのある人の自立支援事業 |
| | 障がい者福祉施設整備事業 |
| 健康長寿の推進と医療の充実 | 心もからだもすこやかな健康づくり活動の推進 ・健康増進交流施設整備事業 |
| | お茶を活かした健康促進事業 |
| | 出生から終末期に至る包括的な地域医療体制強化事業 ・新病院建設事業 |

5) 自然と共生し、歴史を大切にすまち



【基本方向】

地球環境や生態系を考慮に入れた循環型社会の形成をめざすとともに、住民・地域が一体となった自然環境を守り育てる活動を支援します。さらに、自然環境を住民生活のうるおいづくりや未来を担う人づくりなど積極的に活用していきます。

また、宿場町の歴史的な町並みや旧東海道石畳、蓬莱橋など新市の特色を表現する魅力ある景観を活用していくとともに、牧之原台地・北部山間地や大井川河川敷など人々のところを和ませる自然景観の保全に努めます。地域に残る歴史資源については、ただ残すのではなく、住民の誇りとなるよう洗練させてアピールしていきます。

<魅力ある景観の保全>

- ・ 宿場町の歴史的な町並みや蓬莱橋、旧東海道石畳など、新市の特色を表現するような魅力ある景観や牧之原台地・北部山間地や大井川河川敷など人々のところを和ませる自然景観の保全に努めます。

<歴史資源の保存と活用>

- ・ 歴史資源に関する調査等を進めるとともに、その適切な保全・公開等に向けた取り組みを進めます。
- ・ 歴史的文化財や伝統的芸能等については、保存を支援し、継承に努めます。

<自然環境の保全と活用>

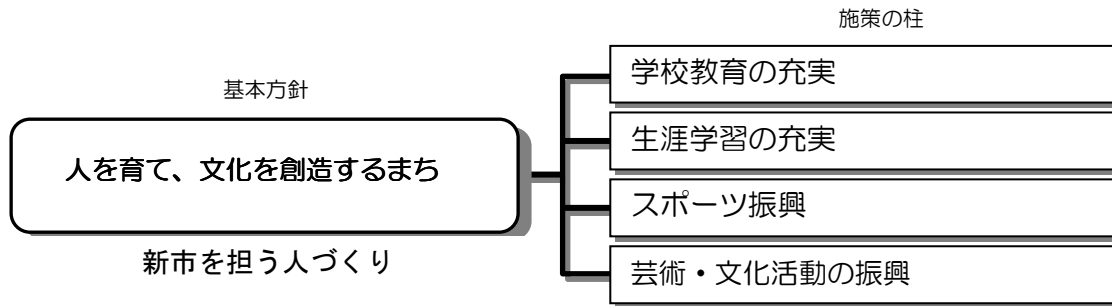
- ・ 新市における豊かな自然環境を地域と一体となって保全するとともに、自然体験や環境学習などを通じて、住民生活のうるおいづくりや未来を担う人づくりに積極的に活用していきます。
- ・ 自然環境の保全に配慮した工法を取り入れて河川整備や治山事業に取り組みます。

<環境への負荷を低減させるまちづくりの推進>

- ・ ごみの減量や資源のリサイクル、環境に配慮した高機能ごみ処理施設を整備するなど資源循環型社会の形成を推進します。
- ・ 地球規模の環境問題を地域から解決していくため、民・産・学・官の連携による環境保全活動を推進します。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|----------------------|--|
| 魅力ある景観の保全 | 美しいまち・歴史的な町並み景観保全事業 |
| 歴史資源の保存と活用 | 郷土の歴史資源の再発見と活用事業 |
| | 歴史と伝統の保存・継承事業 |
| 自然環境の保全と活用 | 地域で取り組む自然環境の保全・活用事業 |
| | 自然環境共生事業 |
| 環境への負荷を低減させるまちづくりの推進 | 環境先進都市をめざす資源循環型社会形成事業 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場整備事業 ・<u>クリーンセンター改修事業（追加）</u> |
| | 環境保全活動促進事業 |

6) 人を育て、文化を創造するまち



【基本方向】

家庭や地域と連携し、小中学校における個に応じた指導の推進や幼児期の教育の充実に努めるとともに、安全な学校施設の整備を進めます。また、地域の風土に根ざした学習環境を取り入れ地域への愛着や新市の一体感を育む学校教育を推進します。

生涯学習については、学習内容の充実や生涯学習関連施設の利便性の向上を図るとともに、住民活動やイベントを支援するなど、様々なニーズに応じた学習環境の向上に努めます。

また、大井川河川敷の活用をはじめとして、各種スポーツ施設・広場・公園等の充実を進め、住民のスポーツ活動の支援に努めるとともに、地域の伝統、祭りの継承や質の高い芸術・文化に触れる場の拡大など、住民が取り組む芸術・文化活動を支援していきます。特に、当地域で育まれてきたお茶の文化については、住民の理解と愛着を一層深めるような取り組みを進め、広く全国・世界へと発信し、新市の文化として広くアピールしていきます。

<学校教育の充実>

- ・ 市内の学校間の交流を深めるとともに、地域の歴史や産業、文化などを学ぶ機会の充実を図り、地域への愛着や新市の一体感を育む教育を推進します。
- ・ 学校施設の整備を進めるとともに、耐震化を図ります。
- ・ 幼・保・小・中の連携と個に応じた指導の充実に努めます。また、栽培活動等を活かした食育の推進や地域の中での体験活動を推進するため、風土に根ざした学習環境の充実を図ります。
- ・ 環境、福祉、情報、国際理解など、時代の変化への柔軟な対応をめざした学習を進めます。

<生涯学習の充実>

- ・ 地域の施設や余裕教室の活用、図書館・博物館の充実と連携などにより生涯学習施設の利便性の向上を図ります。また、伝統的な技術、行事などを知り、伝えていくような学習内容の充実や生涯学習の講師となる地域の人材の発掘を行い、この地域ならではの住民の様々なニーズに応じた生涯学習の機会の充実を図ります。
- ・ 次世代を担う青少年の健全育成を推進するため、世代を超えた人々との交流や自然とのふれあいを図るとともに、家庭、学校、地域が一体となって青少年の心を温かく育む社会の構築を図ります。

<スポーツ振興>

- ・ 大井川マラソンコース「リバティ」を活用し、全国から実業団や大学の合宿を誘致するなど「マラソンのまち」として新市をPRします。
- ・ 大井川河川敷の整備を進めるとともに、各種のスポーツ施設、広場・公園等の充実を図ります。

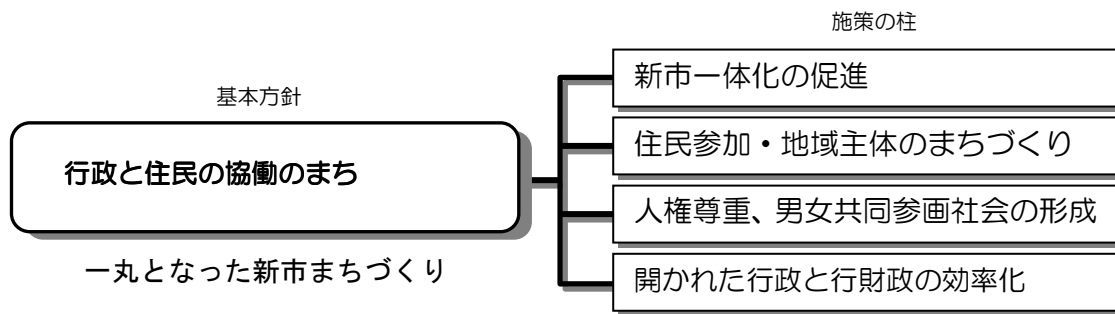
- ・ 住民が体力や技能、技術に応じてスポーツに親しめるよう生涯スポーツ運動を推進します。

<芸術・文化活動の振興>

- ・ 当地域が育ててきたお茶の文化については、お茶の郷の活用などを通じて広く全国・世界へと発信していくとともに、住民がお茶に関して学ぶことができる場と機会の創出を図ります。
- ・ 志戸呂焼や大井川の川越し、島田髷など地域の伝統、文化の継承を支援し、新市の特色ある文化として育てていきます。
- ・ 質の高い芸術・文化に日常的に触れる場を拡大していくとともに、住民の芸術・文化活動を支援していきます。また、文化的イベントを開催し、新市の文化を広く発信していきます。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|------------|-----------------------------|
| 学校教育の充実 | 新市への愛着を育む地域学習促進事業 |
| | 仲間意識を育てる学校間交流事業 |
| | 安心して学べる学校施設整備事業 |
| | 個に応じた指導推進事業 |
| | 時代の変化に柔軟に対応できる総合学習推進事業 |
| 生涯学習の充実 | 多様な学習ニーズに対応する生涯学習機会形成事業 |
| | 利用しやすい生涯学習施設整備事業 |
| | 生涯学習人材・組織育成事業 |
| | 家庭教育支援総合推進事業 |
| | 青少年健全育成事業 |
| スポーツ振興 | 大井川河川敷活用促進事業 |
| | スポーツ施設整備事業 |
| | 誰もが取り組めるスポーツ活動啓発事業 |
| 芸術・文化活動の振興 | お茶文化研究発信事業 ・ お茶の都づくり関連事業 |
| | 陶芸等伝統的文化の継承支援事業 |
| | 質の高い芸術・文化活動支援事業 |
| | 文化的イベント開催支援事業 |

7)行政と住民の協働のまち



【基本方向】

ボランティアなどの自主的な住民活動を積極的に支援していくとともに、住民、特に若者の意見やアイデアを募ることができる機会を充実させていきます。このことで、住民自身がまちの課題について考え、その解決に向けて主体的に取り組む、隣近所での話し合い、助け合いのまちづくりを進めます。また、性別、年齢などにかかわらず、一人ひとりが命の尊さ、個を尊重し、誰もが平等に活躍できるような社会の形成をめざします。

行政にあっては、開かれた行財政運営を進めるとともに、効率的で効果の高い施策展開を進めていきます。地方分権の進展や社会経済状況の変化に伴う行政ニーズの高度化、多様化に的確に対応するために、行政組織の再編を行うとともに、人材の育成に努め、行政サービスの向上と効率化をめざします。また、少子高齢化の進展やますます厳しさを増している国・地方の財政状況の下での財政運営においては、長期的視点に立ったメリハリのある施策の展開と計画的かつ健全な財政運営を進めていきます。

<新市一体化の促進>

- ・ 合併イベントの開催や、市内の各地を知り理解する学習機会の創出などにより、一つのまちとしての早期一体化を図ります。
- ・ 合併後策定する新市の総合的な計画づくりに、住民の参画を図り、一体となって取り組みます。

<住民参加・地域主体のまちづくり>

- ・ 住民の主体的な活動の拠点として、各地区の公民館やコミュニティ施設の整備・充実を図ります。
- ・ 地域、住民、ボランティアやNPOなどの住民組織と協働し、まちづくりを進めます。また、まちづくり活動のけん引役となる各種・各分野のリーダーの育成に努めます。
- ・ 住民参加型のシステムを、新市においても積極的に取り入れ、住民の手によるまちづくりを推進します。特に、中学生・高校生が参加する会議の開催など若者の意見やアイデアを募る機会の充実を図ります。

<人権尊重、男女共同参画社会の形成>

- ・ 性別、年齢などにかかわらず、一人ひとりが活躍できる社会をめざし、男女共同参画社会の形成に向けた教育・啓発活動を推進します。また、児童・高齢者虐待、DV（配偶者間等暴力）に対する相談体制や見守り体制の充実、声かけ運動などの取り組みを進めます。

<開かれた行政と行財政の効率化>

- ・ 開かれた行政を進めるため、多様な機会を通じて適正な情報公開に努めます。また、行政の評価制度を取り入れ、行政運営の透明性の向上を図るとともに、効率的で効果の高い施策展開をめざします。
- ・ 行政サービスの向上と効率化をめざし、職員の適正配置や専門的部署の設置など行政組織の再編を進めるとともに、地方分権に対応できる人材の育成を図ります。
- ・ 健全な財政運営を進めるため、長期的視点に立った計画的な投資・施策の実施や既存施設の有効な活用、民間活力の導入などを積極的に進めるとともに、メリハリのある施策の展開を図ります。

| 施策の柱 | 主要事業 |
|------------------|----------------------------|
| 新市一体化の促進 | 新市一体化PR事業 |
| | 新市総合計画等策定事業 |
| 住民参加・地域主体のまちづくり | 住民活動の拠点となる公民館、コミュニティ施設整備事業 |
| | 心輝くリーダー育成支援事業 |
| | 若者参加の協働のまちづくり事業 |
| | 住民参画推進事業 |
| 人権尊重、男女共同参画社会の形成 | 男女共同参画社会形成事業 |
| | 幸せ願う人権教育充実事業 |
| | 児童・高齢者虐待、DV対策事業 |
| 開かれた行政と行財政の効率化 | 透明性の高い行政に向けた情報公開推進事業 |
| | 効率的・効果的な行政組織適正化事業 |
| | “輝き創る”人材育成事業 |
| | 財政運営健全化事業 |